

事業方針

「健康をつくるボランティア医師の会（けんつく会）」などの地域資源と連携し、生涯を健康でいきいきと安心して暮らせるまちを目指すもの。

区の課題・現状

- ・ 特定健診の受診率が低い（熊本市：24.1%、中央区：21.9%）
- ・ 特定保健指導の受診率が低い（全国 23.6%、熊本市：16.0%）
- ・ 糖尿病の有病者が多い（4人に1人）
（随時血糖検査要指導者…H27年度 145人/592人、H29年度 274人/1,197人）
- ・ 糖尿病の要指導者が、支援に繋がりにくい
- ・ 「健康をつくるボランティア医師の会（けんつく会）」がある
- ・ 生活科学系の大学（尚絅大学）がある

事業概要

1. 事業目的

地域資源である「健康をつくるボランティア医師の会（けんつく会）」等と連携し、高血糖傾向にある区民の生活習慣を早期に改善し、糖尿病の重症化を防ぐ。

2. 対象者

- ・ 中央区に居住又は区内に勤務する65歳未満の成人
- ・ 糖尿病の治療中でない者

3. 事業内容

- (1) 「けんつく会」の医療機関で随時血糖検査の実施
 - ・ 糖尿病予防教室等各種教室への参加呼びかけ
 - ・ 糖尿病連携医の受診勧奨
- (2) 随時血糖要指導者へのきめこまやかな支援
 - ・ 働き盛り世代を対象とした相談会の開催
 - ・ 保健師・栄養士による電話での生活指導
 - ・ 教室に参加できない方へメール・文書等で情報提供
- (3) 糖尿病対策教室の実施
 - ・ 血糖値の改善に効果的な運動教室の開催（週1回）
 - ・ 保健師のカウンセリングによる個人目標設定
 - ・ 栄養士による食事指導・健康管理
 - ・ 大学と連携して糖尿病予防レシピの作成



【事業イメージ図】

4. 事業効果

糖尿病の重症化を防ぐために、医師や保健師等が連携して区民に寄り添いながら支援を行い、生活習慣及び食習慣の改善を行い、要指導者の生活改善を図る。